

丹波市食育推進計画（第3次）

概要版

【計画の期間＊2018年度～2025年度】

～ 伝え 育み 丹波の恵みで健康を ～



丹波の食材を使った
「朝ごはん」を毎日の食卓に

食育とは生きる上での基本であって一人ひとり健やかに暮らすために様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。

丹波市

【基本理念】 市民一人ひとりが 生涯健康で すこやかに暮らす

家庭で実践!! ～ 早起き・おひさま・朝ごはん ～

“健康と実践” をキーワードに、関係機関・団体等が一体となり、食育を推進していきます。

生涯にわたる健全な食生活の実践

- ・「早起き・おひさま・朝ごはん」運動を一層推進し、規則正しい生活習慣を送れる子どもを育成する。
- ・乳幼児から基本的な食習慣を身につけることで、生涯にわたって健全な食生活を実践できる市民を育成する。

丹波の恵みを活かした 食文化の継承・地産地消の推進

- ・各地域にある伝統的な食文化や「丹波大納言小豆」「丹波黒大豆」「丹波栗」という「丹波三宝」を活かした丹波らしい食文化や食材を次世代に継承する。
- ・地元で栽培・収穫された食材を通じ、まちを活性化する。

丹波市の「食育」を支えるひと・まちづくり

- ・食の大切さを理解し、食への感謝の心を育てる。
- ・保育所(園)、幼稚園、認定こども園、学校をはじめ、市内農家、飲食店、食育団体等が連携し、横につながった食育活動が展開できる体制の構築をめざす。

指標：毎日朝ごはんを食べる人の増加



年代	現状値(H28年度)	目標値
就学前	94. 9%	100%(理念目標)
小学生(5 年生)	86. 6%	100%(理念目標)
中学生(2 年生)	75. 3%	100%(理念目標)
高校生	73. 0%	90%以上

指標：塩分を摂りすぎないように気をつけ、実践している人の増加（成人）



性別	現状値(H28年度)	目標値
男性	56. 9%	62%
女性	75. 4%	81%

指標：郷土料理を知っている人、作ることができる人の増加（成人）



	現状値(H28年度)	目標値
知っている人	44. 3%	53%
作ることができる	14. 0%	20%



●施策の展開●

重要 ポイント

- 健康寿命の延伸にむすびつく食育
- 地域への愛着を育む食育
- ライフステージの特性に応じた食育

生涯にわたる
健全な食生活の
実践



食を通じた子ども
の健全育成

- ① 健やかな発育と望ましい食習慣の定着（乳幼児期・学童期・思春期）
- ② 幼稚園、保育所、認定こども園における食育の推進
- ③ 学校における食育の推進
- ④ 歯科保健活動における食育の推進

健康寿命の延伸を
めざした
食の健康づくりの
推進

- ① 次世代を担う（若い世代）食育の推進（15～30歳代）
- ② 生活習慣病予防、重症化予防（働き盛り）
- ③ 高齢期の低栄養予防

丹波の恵みを
活かした食文化
の継承・地産地消
の推進



地産地消の推進

- ① 楽農生活の推進
- ② 直売所等への支援
- ③ 米、野菜等地元食材を活かした取り組み

食と「農」への
理解促進

- ① 生産収穫体験および栽培体験による教育

食文化の継承

- ① 家庭の味・食文化や郷土料理を伝える取り組み
- ② 食資源を活かした産業振興（特産物を活用した取り組み 他）

丹波市の「食育」
を支えるひと・ま
ちづくり



食育推進の機運
づくり・食育に
関する情報発信

- ① 食育月間・食育の日の取り組み
- ② 食育に関する情報発信

関係機関等との
連携・協働による
食育推進体制の
充実

- ① 食育推進に関する会議の開催
- ② 地域における食育実践者の連携強化
- ③ 園や学校の食育推進計画

発行 平成30年（2018年）3月 丹波市 健康部 健康課 氷上保健センター内
（局番のおかけ間違いにご注意ください）

電話：0795-82-4567(直通) FAX：0795-82-5402 E-mail: kenkou@city.tamba.lg.jp